

坂東古老による聞き取り

平成11年7月24日(土)

山崎 藤岡さんか 武田 あの人が持ってはったがいにくここを、坂東と寺塚原と小島と貧乏したときな・・売ってしもうた、小泉へ、ろくだかで、ろくだかやちゃね、毎年の上がり、あんもんやから 山崎 今どう言うた寺島さん 武田 寺島さん小泉のん。寺島さん小泉の徳川時代に受けおうてから、小泉はわかっとなるがいけど、こっだけの伝説が無いちゅ事ちやて、大門いっぺん焼けとんがいて、藤岡か(杉岡)杉岡か、赤井の神主、赤井の神主言うが・・赤井から出とんがかね? 山崎 大門は杉岡、赤井から出とんが・・ 武田 そやろあこに資料残っとらんかとおもて調べたがおっがいけど、資料残っとらんがですて 山崎 もとは杉岡さんで今は寺島 武田 宮島さん 山崎 宮島さんヤッタ 武田 小泉の宮島神主に渡っつがいちゃ、それは坂東と寺塚原と小島 山崎 あこのそやそや寺島さんが寺で、宮島さんが宮やった。(笑い)・・・お寺は、寺島さんやちやお宮の神主さんが宮島さん(笑い)・・・武田 古い伝説はそれしかなかろね・・宮関係が一番古い、お寺あるわけないしね・・ここにねー 山崎 そんなら杉岡さんがその・・宮島さんに譲った頃ちや江戸時代け 武田 江戸時代やろうね。江戸の何時やしらんけど 山崎 書房に出てる神社禄を見りゃわかっかもしれんは、武田 県庁行ってか 山崎 なあ〜図書館にあらう、県立図書館にあるはずや 武田 坂東は、神明宮になっとなるがいちや 沖塚原は神明社やろ、坂東は神明宮になっとなるがいちや・・そこが問題ながいちゃん〜 山崎 おわも一回神宮と神社とどこがちごがけ言われて、なん応えられんだ事あんがいちや・・たとえば伊勢神宮言う言うやろう、熱田神宮言うやろうそやども・・たとへ出雲大社とか稲荷神社とか言うけどもどうしてちごうがけ言われたら言われんだがいちや 武田 神明造り、神社造りと建てもんちごうがけ、山崎 建てもんちや、しんし婚礼造りちや・・天地こげい造りでありながらねあの・・・きなげの・・いわいる櫛田なんか、櫛田神社言うにきね・・そこらとこなん、おわどう返事すりゃわからんがいて思うたけども、あんた所は、神明宮と言うとんがいね 武田 神明宮になっとなが、それがねー神明社にすつときにね、あの、こ、おもしろいがいてこれ、戸籍から神明宮ちゅひとつ抜けたらしいがいちや、そして神明宮にそのままになっとなるらしいがいちや、神社庁の調べでは、これは明治か大正にそれいっぺん、やっとなきに神社庁がね 山崎 あるある 武田 明治か大正か 岡本 明治ですな 山崎 明治に第一回目の合祀礼が出て 武田 廃藩置県が終わってからやろん 山崎 そっこさ神仏分離が始まってからやちや 武田 神仏分離やね 山崎 もう一つどうやけ、神明宮と二山さんとなんか関係ないけ、武田 二山ちゅんなね あのー そののへんだはつきり、こないだはつきり言うとったれども、高木山、二山やにきね 山崎 そやそや 武田 そこで、誰が連れてきたちゅがかね・なや言うとったが 山崎 そういう関係は、はつきりわからんがけ 武田 わからん 山崎 覚正寺の関係ちや おわ なんか関係あんがで無かろうかと思うがいけどね そ あんた所のその普段、参らはちゅ人ちや 武田 おわとこ縁借り公開したんもんやから 山崎 縁借りだあ参っつがけ 武田 二山 山崎 二山さんけ、ん〜 武田 おわとこ御所様 ちや浄蓮寺やにき御東だけ 山崎 全部け 武田 御東全部、7件あつが 御西はお寺3つもあつらい 山崎 ちよつと待ってくだはれ・・ 御東の方は浄蓮寺、そりゃ何件あつがけ7件か8件・・・竹脇 7件やあらべ全部入れて 山崎 御西が石丸・・武田 石丸でない 山崎 石丸やろ

う 武田 違う違う高岡の正念寺、寺塚原と一緒にや、それ4件・松浦と4件、佐竹が二口の菊池さん・・・山崎 佐竹さんが御西 武田 ん・・・御西、沢村が中曽根や 山崎 さー・待たれま、佐竹さんちゃ西光寺 武田 ん、西光寺や、御西、二口やぞ、沢村も中曽根やども御西や、武田 中曽根なんちゅお寺幼稚園の後ろにあんにか、でかいお寺なんちゅお寺
お寺の名前、おらんしらんじゃ、山崎 そわかつわいね、なかそねの寺ね 武田 そりゃ沢村 じんどこやて 山崎 そ・ふったつとも御西ながけ 岡本 三つとも御西 山崎 あんた所、称念寺のが・・・沖におった、寺塚原の・・・武田 寺塚原におった関係やろ 山崎 ん・寺塚原におった関係、ん・浄蓮寺との関係どんながいね、後からこっちはった人け 武田 そんなことないわ 山崎 そうでもないけ、何ちゅう家け、浄蓮寺は 武田 奈古 山崎 奈古わかつちゃ奈古じやなしにその 武田 なんなん、竹脇が二件と竹林が一件と後武田や山崎 武田が何件あつがけ、武田 4件 おおたけだ武士ヤッタね 五件あんがでないか七件か・・・そっでいいが 竹脇 背戸入れて五件あつが、武田 五件あつが 山崎 武田さんがそしたら八件なんがけ 竹脇 八件なんがあらべ出来たから 山崎 だけどその浄蓮寺になった理由ちやなんわからんわけ 武田 そりゃわからんにや徳川時代やもんにその系統やもんに聞いとらんもんに 山崎 武田の本家、総本家ちゃ 武田 総本家ちゃ・おわとこ黒助ちゃ 山崎 なんなんなん武田さんの総本家ちゃ 武田 竹脇から武田でとつが 山崎 そんながけ 武田 武田ちゅがは明治時代につけたが徳川時代につけたがけ・竹脇は徳川からあつが山崎 そしたら 竹脇位 徳川からあるやらなんわかる、名字ちやあらいし・山崎 武田さんと竹脇さんは、分家と本家の関係ながけ 武田 武田清一の関係は、もとべんちゃん去年、死んだ、一昨年死んだべんちゃん所のが本家なが 竹脇 そのあらべが四件あるがいちや武田 なら堀岡の竹脇と 武田 全然関係ない 山崎 ならあこの 武田 野村の竹脇と関係あつがん 山崎 あれがどう関係あつがあれが分家け 武田 分家 山崎 その家も称念寺 武田 ん浄蓮寺、竹脇 門徒は一緒やわ 山崎 や、そっからこの神明宮になんか絵馬とか、そう言うもんあつけ、額みたい、武田 あのね・・・明治前のが一つあつら・・・徳川時代のが一つあつら・絵馬・・・見てくつけ・笑い 絵馬絵馬・拝殿へ行ってみてこらいいが・竹脇位 なんなんなん、ずらかいてしもうて、あがとらんちや 山崎 なんかわからんがけ 武田 絵馬 山崎 何の絵馬か？ 竹脇位 普通の馬の絵書いたんが。手作りで上げたもんやろう。山崎 色つきのもんけ 竹脇位 いやいや白いもんや 山崎 白いもんけ、こ、別に立体的になつとつわけでもないもんけ 武田 立体的になつとる舟あで徳川時代でないがいけ・竹脇位 あら明治三十何年やら 武田 三十何年言うて書いてあつたかの 山崎 立体的のがそれじゃひれ こていでないがけ 竹脇位 こりゃ縄細工したつが 武田 畳の表に・・・山崎 縄でけ 武田 え・・・こ珍しいもんやぞ 山崎 こ・いつか見せてくだはれ 竹脇位 千石舟 武田 ちよつと修理したつけどさ古いもんや 山崎 縄でけ・縄絵馬ちゃ珍しいな 武田 イグサで縄縫つてある、舟こっしやいてあるが立体的やぞ 山崎 馬はまっしろに、しろ馬け 武田 白馬や言は、そんなもんじゃない 笑い・・・ 山崎 そっちのほう古いがけ・武田 そっちの方古いが・ん 明治前のがしつだけやな 山崎 そしたら、二枚だけけ・武田 なー・まだ他にあつけど・明治ちゃ大正、昭和やね 山崎 何枚ほどあつがけ 武田 何枚あるのー・俳句書いてあるのがも古いもんやろう舞句書いてあるが 山崎 舞句書いてあるがなんわからんまい、なん書いてあつたか、なんわからんまえ 竹脇位 あんたつたやなんわからんけ 山崎 字かけしもとろ 竹脇位 字ははっきりしとるよ字なん読めんが・我々は、ごんぼん字やけで読めんてい 竹脇

位 万延元年の品物やちゃ 山崎 万延元年・・百四十年前ほどやねか 武田 さほけ 因縁悪い言うて一年だけの年ぼうやちゅがいでしょう 山崎 四十枚・・枚数 竹脇位 やーそんなんない 武田 そんなないわ 山崎 何枚ほどあつけ 武田 額はあで 竹脇位 五尺ほどのがくやからの 武田 二十枚ほどでないがか・・二十枚からいべあっかなー・・山崎 三寸づつやったら二十枚 武田 二寸ほどかの一・・短冊は、二寸か二寸五分、間ちよっこずつあけてっいっとっから 山崎 だ、奉納したちゃわからんかけ、誰が奉納したか・・武田 そんなまで、言われたらわからんは 岡本 裏に書いたっかかもしれんぞ 山崎 そんなまた後から見せてくたはれ、絵馬と一緒に 武田 ありや古いもんに間違いないわ。そっから後のもんは、大正か昭和にかけての奉納者のものは、いろんなもんあっけども。何点かかあっけども 山崎 こてで、あの漆喰で書いたそんな絵馬ちやないけ 武田 漆喰で書いた絵馬 竹脇位 漆喰で書いたが一つあつら 山崎 あっがいろ竹内源造さんの作 竹脇位 そんな立派なもんでない 山崎 そんな立派でなくても、たいていここら、竹内源造やちゃ・・ん 竹脇位 竹内源造いうたら小杉の・・山崎 んん 竹脇位 なんでないがけ 山崎 砺波のあの・・堀越家やっただけ、土蔵にあの 高木 近藤さんやっただけ 山崎 それも後から見りゃわかるらいね 高木 川口のがでもあっさりとした簡単な絵馬ながいちゃだけど源造、竹内、じやなく源造と目、入っていた 武田 めはいとっただか・竹脇 そこまでなんしらんがいど 山崎 め入っどる、おわとこのお宮にも一枚あつるわこれは、完全に馬ながいちゃそんが、こうやって立体的になっどる前足がここで折れてしもとるがいちゃ・・あんがいあんがいちゃね 山崎 今また昼間そ一回 武田 明るいうちに見てかれま・・笑い この本家 山崎 武田さんまた頼みますちゃ 詣句と絵馬と 竹脇位 そそ、宮あけらすぐ、あけらすぐわかる 山崎 昼間きますちゃ 武田 電気つくよ 今見ていか・・山崎 今鍵かかってしもとんがいろ 武田 鍵なんかかっどらんまい 竹脇 かかっどるわいね、鍵かけてあるはずや 高木 日中見たほいいわ 岡本 日中の方いいわ 武田 宮番持つとっがか 竹脇 自治会長もってはんがでないけ 武田 宮番掃除せんなんぜ 山崎 あんた昼間家におっがいろそしたらまた電話して、たのむちゃね そんながにしていいこと聞いたね。武田 舞句ちゅもんちゃこの辺だにずーとあんがでしょう 山崎、岡本 やー 武田 あんた所の宮ちゃあんがでしょう 高木 舞句ちゃどんなもんながけ 武田 詣句ちゃ俳句をこじえたようながいて 山崎 いろいろ名前があつてね、その神社ちゅもんあんがいちゃ、付けことかいろいろあんがいちゃそしてそう言う物をそのここで一番力を持つとった人、中村ふたきちさんが、中村ふたきちさんが、狐の茶袋の第七集を出いてはんがいちゃ 狐の茶袋言うたらね一集から七集まででとっが、で砺波の方で一集でとっがいちゃ で中村ふたきちさんが第七集を編集しとっが 高木 どんな字書くがいね舞句 武田 舞句の歌にあわせて踊らはるがいにき 山崎 そやそやそや 武田 そっで舞句と言うが・・読んで字のごとく 高木 わからんもんだから 山崎 初代の村長の浦上和衛門さんも、舞句やってはんがいちゃそっで片口の宮へやっば、奉納しとっがいちゃ、あつ 片口にも舞句のげっしやみたいもんあつが・・皆 んん・・ 山崎 ここでは、寺塚原と中野にもかい いんいっしやる・・竹脇位 会員今でもやっしやっがけ 山崎 今でもおっと思は、と言うのは、寺塚原に会員が・・竹脇位 おるおるおる・・高木 わしらの歌いみたいもんとはちがうがけ、山崎 違う違う 武田 俳句みたいなもん 高木 俳句に近いがけ 山崎 俳句と川柳と・・やっば舞句や、笑い・・山崎 字のこたたぶん読めると思は、だれが奉納したかもわかつわ 高木 なかなか貴重なもんやねー 武田 あんたしらんがか？ 高木 やあー・・笑

い・・・武田 何年前かに札、2～3枚おっちえてね、そしてあんたわからんとつて、うしないしももんやさいかね・・・笑い・・・山崎 あつねえ、並べる順序あつがい 武田 なんか順序あんがでしょ 山崎 そして、沖塚原にもあつが、お宮の外っかわにかけてあつがいちゃそしたらその、なぎし見たいやつが落ちたらバラバラになってしもうた、そしたら順番わからんけ言わはったけど、字さいわからんもん順番わかっけ・・・笑い 武田 読むことできんもんやから、字がむつかして、字がわかっがいけど 山崎 順番があつが 武田 よ沖塚原宮に右大臣、左大臣なこなんやっしゃらんちゆがか 浦上 どうやろうかねなんやろー 武田 なんやっしゃらんがいちゆが 山崎 なんないけでこんどこんが・・・武田 うちも今度こん言うてあんた一、在所じゅうなとつちゆがいろ 山崎 なんせんがいろ・・・笑い・笑い 武田 おもしろい話し聞いて来るの・・・おまえとこの宮に右大臣、左大臣おらんそんなもしい宮あつか 山崎 そやから、やっぱ一格式を重んじて付けないかちゆ事やね・・・それとね・・・ここに岸ちゆう人の絵馬あがとらんけ、武田 上がとるら、絵馬して、あれ絵馬ちゆうもんやて、竹脇位 あの人ちよこちよこ上げてくたはった、いくつかある、武田 東京にやはっ人やぜ、絵馬 山崎 その岸ちや・・・今の岸よそべいさんの・・・こっち本家なんがいろ 武田 東京行つとつが 山崎 岸きゆうえもんかな 竹脇 しょう太郎なとつが 武田 親のこたしょう太郎やが、昭和なつてからやから 山崎 その点、絵馬みりゃわかれども、そつからもう一つね・おわ、全然わからんがいども、坂東云うたがどういがかね、武田 そりゃ難しいがいけど・ここ角田ちゆ所やにき角田やにき 山崎 角田ちや寺塚原にもあつがでないけ 武田 なんや坂東の字や 浦上 やかましいぞ 山崎 角田ちゆうが寺塚原と沖塚原は一村ながいちゃ一村やから寺塚原 武田 坂東ちゆう地名どうして付けたもんか・ちゆ事ながいちゃね 山崎 どういうことかね 武田 わからん 竹脇位 昔の古老の話す一若いとき、ちっちゃいとき耳にはさんだ事 山崎 なに一 北村 古老、年寄りの話 竹脇位 坂東太郎、云うたら利根川ろくぞうちゆね、ここに川口あるやろう、そて川の流れが昔の庄川やけど、雄神川云うたらなんやで、その一ために坂東、川いかれんなつとつがやと思うがいけど、山崎 ははは一 庄川の東 武田 関東に坂東武者ちゆうもんおつきねそれの一族が流れてきとんがでないがけ一 利根川が坂東太郎と云うたが 山崎 利根川の事を坂東太郎 武田 利根川の事を坂東太郎やから、なんかひねつたがでないかな一あと 竹脇位 確實の事でないから 武田 坂東三十三カ所関東にあつがね 高木 三十三カ所つてなにんながですか 武田 関東にあんがいちゃ 山崎 さえど、そう云う人と縁のある人ちやなんおらんがいやろう 武田 坂東ちやどうい事を付けたもんか一と言われれば 白いもん黒いもん書いてないさかいに、聞いてもおらんさかいにね。竹脇位 かまでで庄川ちやしょつちゆう氾濫しとつた、結局洪水なつたちや・・・板までとていつちゆがいろ 山崎 んんん 竹脇位 昔あんなもんなんか畳などあらいしね。武田 庄川のこつたしょつちゆう氾濫しとるがいちゃね 山崎 そいつはもうそっこさ記録の上から見てもいっばいあるわ、こころ辺りまともや 竹脇位 下掘ってみるとそやもんね 山崎 やっぱそうとう砂利出てくつて 竹脇位 ガマ 山崎 青いガマ 竹脇位 ヨシの層青いがから赤いがから 武田 ハネソの腐つたが、ヨシの・・・掘つたら 竹脇位 下の方、行くと青なつし、表の方赤やね 山崎 青は放生津潟の関係で青なんが 竹脇位 そんながけ 山崎 ええ・・・赤いところが氾濫源やね・・・武田 地層調べりやどうい川氾濫しとつかね 竹脇位 そまだあんた一ヨシがあんた、ぼこぼこになつて出てくる、そんな古いもんで無かろう 山崎 深さあつとこいろいろあつてね、

あんたいつも古いと言えん 武田 あんた小矢部の桜町遺跡あんた、屋根のヨシまで出てきたがいからさあね・、木の皮とヨシまで出てきたちゅうがいから、何千年たつとる腐らんもんや 竹脇位 あのね、おわとこにね、あんたっちゃ見っしやったかもしれんがいけど、石のこくみみたいなもんでんがいちゃちょこちょこと、山崎 ほんまにけ 高木 石のなにけ 竹脇位 石のお蔵はんの欠片かなんちゅうもんじゃろかね、こ・・一帯に竹林の表の排水掘ったときにでかいと・・お宮さんの後ろにいっぱいいくつも 山崎 人間の顔に手はいつとるもんけ 武田 人間の顔言うて・・赤地藏さんもあるのも一つ。 山崎 まったく天然の石け 武田 天然の石 竹脇位 太田の岩見たいが、山崎 太田の岩 武田 これは寺塚原で上がったが、赤蔵、寺塚原の田んぼの中で、坂東行きたい云うわはったちゅうがいにき（わはは・・みんな大きな笑い）こ・何云うとつがいこの、赤蔵はんの屋敷あんた三十何坪あんがいぜ、こんなでかい地藏はんの屋敷あつか、調べてあつか、富山県の珍しいがいぞ、三十・・一坪やら二坪あんがいぜ 岡本 そのお地藏の 武田 お地藏さんの屋敷があははて、わろかもしれんけど、そんな地藏はんないよ。 山崎 地藏はんちゃたいい一坪か二坪 岡本 半坪のもんや 武田 ようあって五坪のもんや三十何坪あつがいぜ 山崎 そ寺塚原の何処にあったがけ 武田 何処にあったがかわからん 竹脇位 昔のサンマイあったにきかどのその川の下にあったにき 武田 坂東行きたい云うわはった、坂東のサンマイあったがいちゃ昔 昔、寺塚原も田んぼのまん中にあったがにき、在所でサンマイみたいなみんな持った 山崎 赤地藏はんに行きたい言うわせたのやろうね（みんな笑い）行きたい云えま言うて 武田 赤蔵はんのお祭りは、4月の6日か明かり上げて灯明上げてお祭りしとつがいけどもさ、役目しとつがいけでさ 山崎 赤蔵はん出てこられたと時に西向てはったら・・ 武田 田んぼのまん中に三十何坪もうけてそ住宅の屋敷やて三十ぼんほどあったもんや 北村 三十六坪け？ 武田 三十二坪か、三坪100平米くらいあったがでないかいけ 山崎 30坪の記憶正しいかもしれんは、と云うのは昔百姓の家の敷地ちゃ、三十坪、それだけは、絶対藩、加賀藩が絶対してはいけない、だから赤地藏をもつとった人の家がたえて、そのまま御蔵はんあったがいろ 武田 そかもしれん 山崎 そう云う事考えられる。高木 それが三十三坪ながけ三十坪ながけ 山崎 三十坪 武田 そこんとこに田んぼあったが蔵屋敷いうたにき田んぼあったとこ 山崎 そ、改作法の一部改正であの・・五坪・・二十五坪売っても云い云うて五坪だけ残せ云うて、藩の規則がでとつがいちゃ・・そんが江戸時代の終わりになったらみんな売ってもいいぞ 武田 こないだ聞いたがいど松波善行さんどんなこと云ういうたらやしの田んぼに地主な持った田んぼに、農地改革の前にあったちゅうがけ細かいもんが田んぼのまん中に屋敷の縁やてたいがいえ・・ほってなんでしたかちゅう問題、地主が小作人にねおまえこつだけやっさか・ね、高やっさかい、選挙権があったがいて、地主を当選させる為に、選挙権やて・・山崎 買収か（皆笑い） 武田 高五つ六つ高をやってそしたら住民税を納めんなんねんか、小作人な住民税納めんでもいいけども、明治時代ね、その納めるために、その地主が小作人にやったもんらしいがいちゃ、そなたいがい屋敷縁にあつと、五坪か十坪かしらんけど 山崎 大正ね、普通選挙法は大正13年け、 武田 その先に、山崎 五銭以上ちゅうがあつがいぜ 武田 国税集めるもんな選挙権、立候補する権利あつが、国税集めるもんな、そで市町村税集めるもんな選挙権あつが、小作人は選挙権無いと、その五票か三票ほしさに、そのほかにやつたもんらしいがいちゃ松波さんがそういわはるがいちゃなるほどな・・農地改革の時なよになったけれど、こん

なちっちゃいもん五坪や十坪の屋敷の縁においたちゅがいろ、それおまん所のが、お前
どんだけの地主やとったこんだけのもんじゃ 選挙権があつたらしい 高木 それはわかる
んだけど、街の中で、選挙道路ちゅとこあつかいぜ、武田 選挙道路あんがけ 高木 細い
小路みたいとこ（皆ほ一）家ずーとならんどっでしょう、みんなそこへ行って選挙を投票
しに行くときに地主がそこをかうが、とってしもが通るときに、それでその分をわけ与え
たちゅもんかね、通路にして 武田 地主に権限があつたさかいにね、高木 そんなが聞きま
したよ。山崎 だんだんね、税金が選挙を持つ能力のあるもんによね、国の税金の額がだ
んだん、だんだん下がって、下がりがいちゃ下がって、あなた云われるようにね五銭にな
つたらそんなときにおそらく分割したもんやちゃ、そやどおそらくね、お前の名義にしてヤ
ツケで、ごしのう納めやとか・・・武田 約束事あんが。山崎 あんが 武田 であんた名義
だけかしとつが 山崎 お前とこのあこに五坪登記したぞ一言うて・・・ごし納はもろぞ一言
うて言うことやちゃね 武田 結局地主が投票権を欲しいばかりにやっがいちゃ・・・買
収やてね今の、直接買収したわけでもないけども。おわとこのじいはなんなんか 10 何票で
村会議員でたはるにき（笑い）沖塚原と坂東に二票か三票しかないがいにきね、沖塚原の
票もろてきとつがい・・・え 村会議員一期でてまっでみようしようかい言うて貧乏しとつ
がいにき・・・この本家もそうやにき 山崎 今の政治家に聞かせてやりたいくらいやち
ゃ・・・がんがん金も儲けとる政治家の世の中で 武田 財産まっで棒にふってしもうて村会
議員にでとるがいちゃ 山崎 ここで一番代表的なもんな齊藤市長の家やちゃ・まっで県会
議員に立候補しちゃ・みんなこうやって金吐き出してしもうた。武田 そう言う時代は、
明治なってからの話しやけどね 山崎 そしたら坂東に小字ちゃいくつあるが、武田 なん
ないが 山崎 かく田だけけ 岡本 全部かく田なんですか 竹脇 一本杉はちごがけ 武田 一本杉
は寺塚原 おわとこかくだと言わんと角田（すみだ）一つしかない かくだじやなくすみだ
山崎 油面ないけ・・・油面ちゃ寺かな・・・武田 大宝寺と油面言うたらしの商事のあると
こ・・・あつつからこっちやて、しの商事ちゃ川口宮袋はいつとつからん・・・大宝寺と言う
のと油面と言うのと積みが二つか三つ別れとる 竹脇位 いま五郎やちゃ 武田 五郎か、山崎
大宝寺の寺領やはきと 武田 そかもしれんそりや寺塚原や、しかし不思議でならんが
いまだに不思議でならんが坂東のぼちちゅもんによ何処にあつと思ふがいねん、集落のぼ
ちが 竹脇位 おわとこね飛び地云うて今の大島さんと、武田 寺塚原の大宝寺のまん中にあ
つがいぜ 竹脇 諏訪神社ちゅお宮さんあんがいちゃその横にあんがいまでも宮あつが、武
田 これが不思議でならんがいちゃ 山崎 墓地が 武田 寺塚原の本の田んぼのまん中、今工
場のまん中になつとるけどさ 山崎 それが大宝寺領にあるわけ 武田 ん 竹脇位 大宝寺とち
ごよ、大宝寺ちゃまきの用水から向こうや、川から向こうや、牧野用水の 山崎 牧野用水
のこっちけ 武田 こっちこっち、向こう川口宮袋の地面やもん 竹脇 小島冷蔵あるでしょ
う寺塚原に小島冷蔵の西の方 竹脇位 昔の牧野用水あつにか、松の木用水昔の今のがでな
いがいよ、ここに松木の人おられれど、あのこっちや寺塚原や 山崎 そそれも不思議やね、
本当はじぶんとこの集落の近くにおいとくがちゅ 竹脇位 昔そこまであつたが、貧乏した
がでないがけと思ふがいちゃ 山崎 貧乏したか、ある云わ寺・・・竹脇位 川氾濫してばっか
おるもんで 武田 赤蔵はんの話し云うとつたにき、火葬場ちゃ寺塚原のまん中にあつたに
き 山崎 おわっちやもしつとつら 武田 あんたつちな・・・なしつとつこっちやはだけなつ
とつにき 山崎 場所やろ 武田 場所武田の彦八つくつとつたにき南さんやとかあこに三～

四件作とった、あこに火葬場あったがいなき、山崎 そ、貧乏したが、なしに地面の交換なつたがでないかな 武田 わからん 山崎 火葬場ちゃ・・いや、墓地ちゃ出来るだけ離れたいもんやちゃね、だから何処の 武田 墓地ちゅもんにや東京行つたっちゃ屋敷の中にあんにきね、無税五坪ほど無税のところが・・山崎 そんなもんにや地面もとめられんからであって 武田 貧乏したら仮小屋建て無税の所の地面売ろうと思つても売れんが、墓地は。東京行つたら農家にでかいとあるなき 岡本 関東行つたら屋敷の一角に墓地のこた・・わりとあつが 高木 砺波の方にも結構ある 武田 屋敷の中にあつがいちゃそれが無税やにき税金かからんねけ・・ん 竹脇位 今許可すんがか 岡本 許可せん 高木 せんでしょう 武田 昔やけで許可したがで 岡本 昔からの関連やから・・(皆笑い) 許可してからやろうかやろう 山崎 それに制度言う宗教的な問題もあんがいちゃ・・けして・・どう云うていいかな一浄土真宗で云うのは、なんないなき 岡本 ちよつと不思議ながね坂東が・私ら聞いておる話しは、沖塚原の分村だと云う・・分村と言うか飛び地 竹脇位 分村したがいちゅ 岡本 と云う事は、その沖塚原自身が、ちよつとちよつと前をたどれば、あの一寺塚原も沖塚原もひとみ一村であつたと、坂東もそう言う一本の中にあつたから仮に墓地が寺塚原のそこにあつても、まか不思議ではないと云う・・・そう言うはつきつとそう言う自治会の自治と言う意識が、坂東と言う意識が、ぐーつと芽生えて、ちゅもんか、芽生えてきたのがいつ頃なもんですかね、このへんあたりはつきりわからんね、武田 坂東ちゅ自治会が出てきたのは、合編と同時に出来たがでないがけ、昭和28年でないがけ、だから荒木さんがいっぺん言われんなんもんで、坂東の歴史は28年から 山崎 それは云える 岡本 本当のね 武田 そりゃ白いもんに黒いもん書いたんがいから 岡本 そういうほれ、もつと昔と云おうか明治の初め頃にそう云う地検と云うのは、へんですが村の 武田 そりゃ沖塚原の堀さんが強かったから堀持つていってまたわけやて、岡本 なるほど 武田 権力が強かったもんに 高木 ただし、その一昭和28年以前でも坂東の地区だけは一つの村として 武田 集落やつたが、万蔵、沖塚原にもらいにいかんなんにき、山崎 結局ね、村立てが認められたんだと、藩が、金沢藩が村立てをみとめんだ 岡本 認めた 山崎 認めんだふうにお宮があつちゅう事はどういう事か 武田 三藩地検の時に坂東ちゅもん認めてくれら良いけど、お宮さん持つとつがいけど、県庁行つたときに、分村した云うたら、お宮さんあつか言われたら、ありますと言うた 竹脇位 宮はんが七代とか云うて 山崎 そのお宮が聞いてみるとずっと古いもんやから、そしてなんかねよその、どう言うていいかな一沖塚原、寺塚原以外の人は、ま・川口やとか松木だとか宮袋、朴木の人は、坂東と沖塚原は分家争いしとつはよそ目で見とつけど・・そこはそでないがいちゃ、と言うのは、あの一・・沖塚原に坂東出身の、坂東からかわつて来とる人でかいとおんが。武田 沖塚原に開墾にやる 山崎 と言うのは、おそらくはつきりせんがいど、れいの木船城がつぶれた時の地震の時に、庄川がこ・止められた崖崩れで、その次にその・・崖崩れの泥が大雨で流れた、そんなときに沖塚原と寺塚原のまん中、割つたとそつで二つの村に分かれたけども、きちつと千二百五十石ずつ分たつがいちゃ 武田 高やろ 岡本 なるほど 武田 そうらしいがいちゃ 山崎 二千五百石あつたもんやから、まん中できちつと 武田 坂東も入れてやぞ二千五百石いまだにそれあの、千二百五十石で用水流れとつがい、からさ・ん 山崎 沖塚原の人か耕作しとる分では、千二百五十石あつただけれども、寺塚原から坂東の引き替えにいつて千二百五十石にたらんがいちゃ。たらんだら結局沖塚原の一番東へたらん分を沖塚原から

取っているわけながいちゃ。境ちゅとこあんがいちゃ、その境もね、作道との境と言う意味だろうと思がいちゃ、武田 布目の方にか 山崎 ん、そこが寺塚原領なが 竹脇位 あこに飛び地があった 山崎 みんな来たはったやろ・・・(皆、んんん、ほ一) 千二百五十石に割ったちゅことは・・・五十石分は・・・竹脇位 それあんた石高じゃないでしょう 水高でないがけ 山崎 草高、武田 草高 山崎 草高ちゅうのはね、だいたい、そこははっきりわからんがいけど、武田 水高と草高わからんが、どういう関係のもんやろう。山崎 あのね・・・草高ちゃ、一石の米がとれる面積を一石言うが。山崎 一石の採れる面積を・・・武田 土地の悪い所はひどいちゅこつたらね 山崎 だから 武田 沖塚原から布目へ行くがに土地が豊富やからちゅちゅいちゅこつちや 山崎 なんなん、それがね計算難しいもんやから結局、能登と射水、砺波がなぜ一反、三百六十分になったかちゅ事ははっきりせんがいちゃ・そんながで、石川の加賀領は、みんな三百分一反、能登とここだけ三百六十分一反、20%増しながいちゃ、と言う事は、加賀藩がごまかそうしたがか 武田 現行数量ごまかいたがでないか、山崎 そやけど藩わかんもん、だから加賀藩が石高を低くして、岡本 庄川氾濫が 山崎 だからね三百六十分一反言うたら、一石半、1.5 石 武田 それくらいや 岡本 加賀藩は徳川にごまかすために、りくつつけてそうでもないがけ・・・山崎 それだけじゃ言えんが 武田 政治力の力やちゅが 山崎 そう言うがやったらそれこそテレビドラマ見とるような、御光にやられたないようにやられとらんちゅことない、なんちゅんと計算が有ったらしい。武田 あったらしいね。竹脇位 おわとこの村の肝煎りちゅ何処にあったもんやろう、肝煎り、山崎 おそどうかね一寺塚原に肝煎りおろう、沖塚原にも肝煎りおっが、川口におっがえど、坂東はどっちの肝煎りが支配しとったか、おわ今日、知りたかったがいちゃ なんわからんがけ、武田 肝煎りとは？ 竹脇位 庄屋のことや、山崎 その集落に一番偉い人、責任者が肝煎りながいちゃ、寺塚原にはおそらくね、組合頭はおったとおもうがいど、竹脇位 肝煎りちゅ聞いたことないぞ。山崎 必ずおっがい、肝煎りがおって、組合頭が三人くらいおって 武田 肝煎りの下に 山崎 今日三人、沖塚原でも寺塚原でもだっかなんわからんがけども。三人おとしたらおそらく、1人坂東におるはず。村からここまで来るのめんどくさいにき 竹脇位 肝煎り言うたら宅地一万坪位あるぞ 山崎 なんなん、あんた考えとる肝煎りちゅのは、そんなもんでないがいちゃ 沖塚原やったら堀久右エ門さん、堀義一郎さんあこが肝煎りなんで、松木の・・・竹脇位 肝煎りちゅ一代だけのがいちゅ 山崎 なん、そんがね息子が多きなったらちゅんと肝煎りなるようになってっがいちゃ 竹脇位 今の歴史を書き変えんがにちゅこえらなってきたちゅの肝煎りやっさかい、昔のがみんな持って行って、取って行ってしもて・・・処分してしもた。山崎 そんが藩がね・・・肝煎りが40人なら40人でまた戸村につながるその上に、戸村だとたとえばここやったら、北野の折橋さんあるでしょう。いま東京行ったはらいね、あれが戸村やそっで戸村がその文、公吏奉行に行って、ここの肝煎りは、ここにします、ここの肝煎りはここにします。云うとその何ページくらいなろうか？ お父さんは肝煎りで今、家の地面は一丁ほどしかないがいと、そう言うてでかして、親が肝煎りしとったもんやけど、そう言うものを係りしとる組合頭しとる武田さんか竹脇さんかどっちか組合頭やっつたがでないか書き付けちゅないもんけ。武田 わからん 山崎 寺塚原の文字かなんかでその名前がでて来りゃね、竹脇位 あんなもんなだいたいよこの連絡すんもんにゃ寺塚原になろかね？ 山崎 寺塚原、寺塚原ちゅ地主多いがね、大地主多いから、大宝寺とかその称念

寺(?)とかがあったがでそう言う寺が、勢力争いが強いもんだから、その必ず足引っ張る人が出てきて、そして勝山さんになったり、佐伯さんになったりそう言うことが、綱の引き合いながいちゃ、さがいて来れば有ろうけどね。竹脇位 あこのあんた一・今なんやにか勝山の辺りなんやととるあこの昔の小川かあこがでかかったがちゅがやないがけ、山崎 そんなあし原田さんも一時勢力あった 武田 彦八やろ 山崎 塚本さんもそやしね、だから勢力ある人がでかいとおるとかえってわかりにくいと、竹脇位 もっちよっこでかいとちゅうとはんぱながいちゃね、山崎 あんた所の本家になんかないけ、武田 十何年倉中調べたことあつけども、竹脇 ・武田 ぜんのなるとおももんにゃ配膳一つあつだけやろ、山崎 そんなもん 竹脇 十何年くら入ったことないもんに 竹脇位 ぜんになるやらならんやら 武田 九谷焼の配膳はぜんになるもんやけど 武田 その他にちゅもんにゃお膳もろくなものなし 山崎 案外ねダンス、長持ちの隅っこにあんもんじゃ 岡本 ぐるぐるまつけて (笑い) 竹脇位 ダンスもあんた・倉中たんな汚い見たことないが・六十いくつ成つてから初めてみたが、いまのみつかさねの、・山崎 個人的にぼやあっても一軒丸々燃えたちゅ事・武田 なかろうと思うがけど、山崎 どっかになけんなんはずやどね一、火事、一軒丸々燃えたちゅ火事じゃないでしょう、竹脇位 聞いたことない 山崎 なかろう、必ず長持ちの隅っこ辺りにあんがいね、こやって紙ににまいたつが・虫食いだらけのがあつもんやちゃ (笑い・) 竹脇 長持ち燃やいてしもた。竹脇位 やね一学校の先生らちな、言わはつけど、おわところっちゃ昔、なんらち学校あつたがなんて、おわちや聞いとつがいてね、あんたね一、黒いもんに、白いもん書いてありや、一発で超つくがやつたがいけど、ほんまの沖塚原の堀さんから、出てきたがやと、しょうになったがいろ 武田 黒いもんに白いもん書いてありや、学校はここまで来たはつちゅ事聞いとつがいけどあんたな一 山崎 今からね昭和二十七年かやつたか・昭和二十七年にちょっと調べたことあつがいちゃそしたらね、現に沖塚原からここまで来たちゅう人おつたが、武田さんやろう、武田さんへ来て、なんせね、朝縄縫うて、そ、学校やちゃね、学校来たらなわ縫わせられる、そして今思うたら、縫うた縄積んであつたが、部屋の隅から部屋の隅また動かさせられるつがいちゃ、あんが体操やつたがかね・ん (笑い) 武田 北野の中野からも来とつたと 山崎 北野は、ちょうどね一大門の佐伯、佐伯ちゅう小屋あつにき、あこへ言ってもいいし、こつちへ来てもいい武田 こつち来るが近いもんやからさ・ん 北野、中野、小島、若杉も来とる小島も一部きとつたがでないがけ、それくらいが坂東へ 山崎 沖塚原にも来とつた 武田 結構来とつたふうやけどね 山崎 なんせ授業が拍子木で始まったがやつた・ん始まっぞカンカンカン云うて、武田 版木なかったけ 山崎 そいつは塚原小学校出来てから 武田 版か 山崎 はじめ拍子木やつた 武田 あんたとこの在所にはんたたくのあつにか、んたたくもんちやあんにゃ 山崎 ここがいや言うわはつて、ひて沖塚原の堀さん行つたが 武田 そんながけ、山崎 そつとも、もう一つに沖塚原からでかいと、わざわざちよっこしかおらんとこへ出かけるなら沖塚原に造つたらいいわ考え方もあつたがでないかな。武田 人数でかいとなつたもんやから 山崎 ン・そこがなんわからんが・そやけど沖塚原からここへ勉強に来たちゅう人おつた。武田 坂東の方が古いちゅこつちややろ・ここにあつたちゅことは 山崎 そうそう、やはり蓬源小学校以前の寺子屋と学校の境目・第何番学校になつたがかね 武田 わからん 山崎 第36番の何番かになんがいちゃ武田 きや確かにあつたがまちがないがいちゃ 山崎 だいたい午前中で授業終わつたらしいが

いちゃね 縄縫うて・・・武田 仕事させられたもんやから 山崎 それがどうも授業料を軽くするためにやったがでないかね。竹脇位 そうそう家のもん先生になつとんがかの、なんそんなことなかる。山崎 なん、たいていね肝煎りが、頼んにいっとつがいちゃ・そんなときは副校長ながいちゃね、あの・・・北野に校長がおって、そつで寺とか沖塚原に副校長ちゅもんおんがいちゃ・・・そう言う人がたのんに行つとつが、だいたい月4円やは、武田 でかいぜ 山崎 なんてかいこっちゃいね 武田 40銭 じゃない4円やろう 山崎 だからそんがね、貸す人はそんなでつかないがいです。貸す人は、月に二十銭くらいでないかな、武田 そんなもんやろ 山崎 年間二円四十銭、二十銭ならね、三円よりも低かったわ、武田 二十銭から二十五銭やは 山崎 なぜわかる言うたら、その松木のはじめに泉田さんにあつたがかな、学校が、泉田さんが都合わるなつたから高信さんに移つたがいちゃ、高信さんへ移つた時に、牧野のあ・・・なんちゅ人やったかね、ほんのちよっこ、遠くなんもんやからおらおいた言うて先生が、そしたら誰かおらんけ、その浦上和衛門さんな、あっちこつちにさがいとして四円で話がついて高信さんへ勤めるようになるが、そんなとき朴木に分校があつて朴木ちゃ村田和左右衛門さんかな、が学校を引き受けてはんがいちゃね、そしたら試験があつがいちゃ、松木からその先生が出かけていって試験をしとつがいちゃね、検定試験やちゃ、お前その一年生に合格とか、そんな記録浦上さんに記録あつがいちゃ 武田 和衛門さんここに、白いもんに黒いもん書いて記録、残いたらどんな話しでも、わかっけどもさ、こ言うとつだけでちゃ、伝説みたいもんで、親から聞いとる、何に聞いたりして 竹脇位 話し上手なもんは、昔の物語りみたいに・・・(みな笑い) 武田 おばあちゃんの物語ちゃそんながいちゅね 山崎 そつでごちゃごちゃになつてしもがいちゅね。そんながおわ話し、しに来たがじゃないおわあんとつちやの話し聞きに来たが・・・(みな笑い) 武田 そんな話しも聞いて、はなしが出てくんがないかないがけ (みな笑い) 浦上 長持ちの隅っこにないかいね・・・(みな笑い) 武田 や、こう言うてなんがいど、竹脇云うて古いに間違いないがいちゃ、くろ助ちゅもんな、どういう事でわかる云うて、殿村に若林ちゅがあるねかいね、でかい若林 山崎 あるある 武田 ね、あこへ本行に行った、番頭に行ったもんらしいがいちゃ、それがどんな名前ながかあの・・・本林ちゅがあろう殿村にね 岡本 本林ええ 武田 若林から出たもとむらいね、それが、竹脇から出た番頭やつたらしいがいちゃ、そこでその別れがみんな、竹脇名のつとつがいちゃ六件か七件あろう 山崎 変なこと聞くけどここに五郎三郎ちゅ家ないけ、武田 五郎三郎、あんたいっぺん聞いたね。聞かんだけ 山崎 いまその・・・あの・・・いわゆる殿村、殿村ちゅう名前やちゃ、殿村津幡江ながいちゃ 武田 殿村津幡江 山崎 なぜ殿村ちゅうがついたがか言うたらね 殿村、十村津幡江ながやちゃ、十村がおつた津幡江ながいちゃ十村津幡江がいつの間にか殿村になつたがいちゃ、そしたら殿村が津幡江へその・・・若林さんへ勤めとる手代やちゃ、手代言うたらあんとあんとする番頭やちゃ、ひたら番頭がね偽金造りやつとつがいちゃ 武田 それ見つかったがけ 山崎 偽金造りやつて、おわなん、現物見とらんがえど、現にあんがいちゃ 武田 そのお金が 山崎 ん、持つとつ人おつが 武田 ほお・・・山崎 ひたら藩がそれを、おわどうも、引つかつたがでないか思うが、藩のやり方が、藩がそれを取り上げて、手代五郎三郎やつたことになんがいちゃ 武田 やつたことになつとつがけ 山崎 ん、あんと今、番頭言うたらろう、ひたらここに五郎三郎ちゅう人おつがないか思うが 武田 わからん 山崎 そつがおわとこの部落にね、五郎佐ちゅう家あつがいちゃ、そひたら

五郎三郎が五郎佐になつとつが、その家ちゃ年代的に若いがいちゃ、おおてこんが 武田 年代が合わんがや。山崎 んん、そしたらね、一つ考えられることはあんた言ううとる坂東の五郎三郎が殿のんだまでがちょっこ遠いもんだから沖塚原で地面あつたがないかと、そこに家、持とつて、まったくミステリーですよ（笑い）そこに家もつとつて五郎佐、五郎佐言うたがいと思ふよ、ひたらそのがで、ほら、あの・・・処刑されるやろう処刑されたが、跡地が残つとつて、たまたま五郎三郎ちゅ人が分家したもんだから、跡地のまんま、五郎佐になつたがでないか、おわそんが考えた・・・竹脇位 さそんな罪人のそんがなら宅地もみんな没収やわい、なんないわ 山崎 なん、そつがね 武田 没収されるくらいなつたら、そのでかいやつはわるいことしとるの間違いないけどもさ。やつとつたやつは山崎 そうそうそう 武田 それが、つれてかんで没してしもうがで、没収されん先に分割してしもやなつかえんにき。没収されん先に分割しら・・・ 山崎 そいつはもっと悪いがいちゃ・・・笑い 武田 もっと悪い、わからんうちに分割してしもうがい・・・んや、分割言わ、今殿村の話出た、殿村に、門座屋敷ちゅうがあるちゅうがいろ 山崎 なに 武田 門座屋敷、門座、門蔵ちゅ人か 山崎 もんじゃちゃなにけ 高木 門座屋敷ちゃ偽金作りの門 武田 門座屋敷の中に七件やら八件たつとつといね、その屋敷の中に、そう言うでかい屋敷もつとつたもんやと、そこで偽金つくつとつた、なんつくつとつたん作つてつておろうと、そのでかい屋敷に何作つとつたかなんわからんぞ、ん 武田 ばらいてでん先に七件か八件に分割してしもうたもんでないかと思ふがやど 山崎 若林さんと本林さんは本家、分家の関係 武田 本家分家の関係やろう、若林へ奉公したのが、くろ助から出た番頭でそれが本林ちゅなお名乗つて出たらしいがいちゃ分家したらしいがいちゃその別れが皆、竹脇を名のつとつらしいがいちゃ 山崎 ふうふうん 武田 それ誰調べた言うたら学校の先生、竹脇正光ちゅがおつわいね、たいしょうおわとこ二へん来て行つた、竹脇系のルーツを調べたて、高木 堀岡の 山崎 あんたつちやに上げたにきコピーを 竹脇 そつでないが作道の 山崎 おわコピーして上げたにき、あれが竹脇さんのがいちゃ 武田 ルーツ調べておわとこの、浄蓮寺行つたりわからんがとさ、そでまめでないもんやさかい、ただ俗名書いたつて何代目も書いてなけんや男も女も書いてないがいとさ・・・ん、年号書いただけのがいとそれも 山崎 話し全く変わつけども黒樋あるでしょう 武田 黒樋 山崎 黒樋の縁の、今ほとんど田んぼなんなかろけれども・・・元、田んぼあつたよね 武田 田んぼやつた 山崎 あつ坂東のもんけ 武田 川口のもん、川口宮袋なが、寺塚原一番で、石瀬、田んぼしに來とつたぞ、黒砂の縁で石瀬にね庄川回収したときにね、石瀬が田んぼ取られたときに、あいた分だけこつちにあつたらしいがいちゃ、田んぼと畑おら作つとつたときに、石瀬の人田んぼ一枚作つてはつた、ん 黒樋のかまてやにき、ん 山崎 そしたら川口のその亀田口あつにき、亀代口ちゃもつちよっこつちながけ、高木 どうかね、わしあんま詳しくないがいけど、亀代口ちゃ庄川に畑あつたから、亀田口ちゃ 山崎 庄川があつち曲がつとつた時、どつかここらあたり 武田 能町の方なに、出とつた 山崎 金清八さんに聞いたら、^{かめだ}亀田、そ、書いとつた人は、亀代口と書いとつがやちゃ、亀代口ちゃなんないけど亀田あつが、武田 えちゃこのえか 山崎 亀田ちゃおそらく深い田んぼやつた思がいど、そこら辺りをおそらく亀田口言うつとつたがでないか、黒樋からもつちよっこ下がるがかなあ・・・思ふて 武田 黒樋してね、黒樋のちよつと向こうに、庄川の堤防上がる道あろがいね、あれが第二堤防やちゅがいね。第二堤防、それを利用して南や土石採集しとつた、今、名のこりは第二堤

防の名のこりや、庄川改修したら第二堤防なよになってしもうた、上手^{かまて}にありますけどさ、山崎 ちょっとそこが曲がり角やけで、一番水にやられやすい 武田 やられた 山崎 そつ^{もと}で第二堤防まで広げたわけやね。武田 と、言うわけやね。ん 山崎 そつで第二堤防と基^{もと}あった第一堤防の間が草地になつとったわけやね。武田 そう言うことやろ 山崎 そこで寺塚原の人は、そこでその・馬や牛を飼うちゅ事を考えた。武田 そうかもしれん、ん 山崎 なぜ、寺や、寺塚原が牛の数が多かったり馬の数が多かなあ・・・と言う疑問があったがやちゃ・その明治ん・武田 明治から大正にかけてやろう 山崎 明治の終わり頃から大正10年頃までに 北村 そいつは河川敷でやつとったがけ 武田 第一堤防と第二堤防の間、草茫々^{ぼうぼう}になつとったが 山崎 そこをその皆さんが利用して 武田 持ち物はどこのもん言うたら、内務省のもん、北村 内務省やちゃね。武田 今のこた建設省やけど、もとは内務省が管轄^{かんかつ}しとったがから。山崎 やっぱあ・・・おわ考えとったが正かったがかな、おわ、どうもそんなが^な無いかなと思うて、塚原でねえ寺塚原だけだけしか馬とか牛とかおらんがいちゃ 武田 第一堤防と第二堤防の牧草地 北村 間やねえ 武田 牧草地になつとったやろ・・・草木が生えとりや氾濫もせんしさあ・ねえ^{けんぞう}・・・どだけ氾濫したもんやら徳川時代にあんた。山崎 そこに目つけたのががその塚本兼三さん 武田 塚本兼三ねはい、はいだから庄川の淵、川のあっちもそうだけれども、荒れたもんなやさかい、あま土まっで東向いて流れていっとる、田んぼの尼土はねえだから沖塚原から向こうは、田んぼへ粘質壤土の、培養土もあっしさ、水質もいいがいちゃ 山崎 そやそや 武田 松木、朴木がいいがいちゃ・ん・そつつから布目からあこ鏡宮の方へ良いがいけどさ、低いと高いがいけどさ高いとこあかんがいちゃ高い所まんて、さらわれていっとさかい・ん 山崎 おわとこの方もね 武田 部落形成ちゅもん^なにや高い所にあっらいね、低いと向いて開墾していっとるがいちゃ、たいへんここの辺は、部落^{かまて}しもから東の方を向いてどこの部落行っても田んぼはそっちの方にあっがいちゃ、で上手に形成しとっがいちゃ 山崎 それもねえその・・・開墾の順序でそうなんがか 武田 水ついたからやろがいね 山崎 結局ねえ・水つく事もあっけども自分らちの下水を田んぼの肥やしに 武田 そう、そう、そう流すがもあんがいちゃ 山崎 そのために北高木なんかも、わざわざ下から上へ移つとるがいちゃ、北高木あつでしょう、今のあこに工業団地あるでしょう、遺跡のあるとこ、あこにあったが、それがその・・・下水がまっで、布目とか高木に流れていってしももんで 武田 おわとこの田んぼ入いらんちゅもんや 山崎 ん、ん、その貧しい言うたら貧しいし、利口と言わ利口 武田 だけどあんた・・・あこに南高木ちゅうがあんにかの・・・六件か七件で、あ、宮持とるにきのお北高木の上手やちゅがいにき、のお、北高木の、上手にすわんがいとそだけん禄高あこのね・・・ええと禄高、今貧乏して草茫々になつとるがいね 山崎 あこねえ津田さんや 武田 あれが千石持ちの五百持ちかしらんけどもさ、あっ一人して威張^{いば}っておった、北高木で、北高木を支配しとった・ん 山崎 石黒信由の一番弟子やったが、石黒高樹の一番弟子やったが 武田 石黒の一番でしか、山崎 だから測量器具もみんな新湊に持ってこらはった 武田 でっかい屋敷やぞ、ほんまにでっかい屋敷やぞ・・・青木 倉の中に 武田 爺と婆と二人しかおらんがやにき、昔あんた鳥取の方から草刈りによう来てもろうたがいけど今日この頃自作農おらんようになってしもうたらこのしまつや言うてはった、ばっかい出きんが、 山崎 坂東の田んぼの面積言うたらいまは、今はもうわからんやけれど、昔いくら位やったがけ、武田 どだけんあつたもんやろうかの・・・何丁あつたもんやろう、わか

らん 武田 平均一丁、武田 あんた言うがいつ頃の話やろう、徳川時代の話け 山崎 なん
いつでもいいが 山崎 いわいる坂東と言う地名のもとに、いくら、角田やっただけ、角田に
いくらあったもんけ、竹脇位 えっとねー 山崎 十丁くらいけ、竹脇位 そだけんない 武
田 そだけんない、今現在六丁くらいしかない、それより一丁位上かな。山崎 こ、建った
とこ、でかいとあるにき 竹脇位 一丁ほどつぶれとる、この道から田んぼ二枚くらい、武
田 坂東の地面どだけん、この道から60mしかないがいぜ 山崎 十丁言うたら 竹脇位
七丁か八丁ないかな・武田 七丁か八丁 山崎 そんな時から十何軒あんがちゅその頃は、
武田 十一軒あったが、その当時は十三軒あったがいけれども、二軒なよなとつちやね。
竹脇位 その他に、あんた川向かいの川口の田んぼしてはったが来とつたたしね。寺塚原
から三丁、二丁何段きとつしね。武田 今現在作とつがいぞ、坂東の隅田ちゅうもん
にゃそだけんないわ、七丁ほどやの、県道のふち売れたがも隅田の中やにき 山崎 七丁から
八丁 武田 国道8号線まであつがいにき、東保の資材置き場の番地なつとろそれ、耕地整
理したときにわけたが 山崎 平均一丁とみんなね、沖塚原80戸あつてね、80丁あつ
たがね、だから平均一丁とみら、ちょっこ苦しいがね、武田 そやから坂東、伸びとらん
が 山崎 だいたいその個数^{かける}×一丁のもん、やどね 竹脇位 そんな一丁なんか無かろう
武田 そっだけまで無い、地主おつたけど開墾しとらんがいろ、寺塚原んな開墾されて、
売ってしもたが 竹脇位 でかていきついやつおらんけで 武田 きついやつおらん
けで、徳川時代にはおつたけど・・・そしたら変なこと言うけど、お宮あんがに、お宮に
獅子舞の奉納ちゃ全然ないちゅことやね、別な奉納ねのしかた、しとつがけ、神主さん太
鼓たたきにこらはるだけけ 岡本 おわつちやちっちやい時、なんか沖塚原から奉納に来た
ちゅ事ですけ、ちごとつて 竹脇位 一辺やら二辺来ていっただけやちや 武田 こうか、言
うたがいけれども、おわとこの村に受けられん、そうなたつちや大変な事つちやと
山崎 花つくもんね 武田 花つくしね 皆 笑い・・・武田 自治会で受けられん、言うた、
山崎 なん来とらんは、武田 お祭りの時一軒まついにはからんなちゅこつた、今で婿花
てはろて来とるがいけどさ、今度向こうから持ってくるの大変なこつちやとさあ、ないも
ん、あるがにしたつちや、ないところあるがにしたつちや大変な事つちやぞ、おくまいか言
うて、山崎 そつでも何か代わる、その神様への感謝のどう言うか、そう言うなの何かあ
りそうに思がいけどね、盆踊りあつたりさ 武田 昔のしきたりけ。 山崎 ええ なんない
もんけ 武田 あつたかもしれねど部落が小さいさかい、はねおえんがいちや、すたれすも
がか、つまり後継者が部落が小さいために、山崎 やあうまくわたらいいがちゅうね。寺
塚原と沖塚原を相手にとってさあんたとこ、こつちよつこしてくれんがやつたら、寺でた
のんがやとか 皆 笑い・・・武田 そつだけの交渉力無かつたが 山崎 寺行って沖塚原にや
つてくれはちゅがいど、あんたとこなんかしてくれんけとか、皆 笑い・・・武田 お
ら二十いくつの時やいの、おもやにおつたとき、寺塚原のおわの年輩のもんや坂東の獅
子舞にいい時間に、こうか言うた、昼時間にね、今で車でトラック買うたし車で来られる
にき言う、こういう話出たがいども、そいつ村にいいかげんに、図つたら、考えとつて、
そんなもん^{まいどし}毎年もろたつて、どうすんがいとさ・・・山崎 今まで、そつとつとつといたもん、
そつとつとつとけ 皆 笑い 武田 あおだかすがいちゅが 北村 その宮さん神主さんは、宮島
やちや、小泉の 皆、宮島さんや 武田 これもね売り買いしたもんらしいがいね。竹脇 南
郷線、もつちよつこ行ったところ

